

# 一宮西高 同窓会報

第16号 1999年7月1日発行

発行：一宮西高校同窓会事務局  
一宮市萩原町串作字河田1番地 〒491-0376  
TEL (0586)68-1191 FAX (0586)69-0196

## 一回生の思い出

### ゼロからのスタート

同窓会副会長 村井雄二



この度、一宮西高同窓会総会にて新たに副会長に選任されました村井雄二でございます。

私は、今から三十六年前、一宮高校西分校として発足しました現一宮西高等学校に第一回生として、入学致しました。その時の心中を今、素直に申し上げます。分校に入学というのは、本意では御座いませんでした。ましてや大和中学の教室を借りての日々の授業はまことに肩身の狭い思いをしたものです。やっと二学期には一棟の校舎が完成し、二〇〇名の仲間と現在の地、二子の新校舎に入る



事が出来たのですが、そこには勉強以外にグラウンドの石拾い、整備、草取りといった重労働（実はこの作業が結構楽しかったのですが）が待ち受けているという何もかもが1からのスタートでした。しかし、竹内校長はじめ諸先生方の愛情に満ちた熱心なご指導と少人数が故に生まれた一体感が自主性を育み、自由闊達な雰囲気を作り出し、既成の枠内では体験できない高校生活を送る事が出来ました。

この様なスタートが現在の西高の校風にも繋がっているのではないのでしょうか。この経験と三年間で得た友は五十歳を過ぎた今でも、私の貴重な財産のひとつであります。今、日本経済はバブル崩壊後の後遺症による不況に喘ぎ、物質も精神も二十一世紀を展望できない閉塞感に包まれております。この様な時代こそ既成の枠に囚われないクリエイティブでフレキシビリティに富んだ知的発想・知的行動が求められています。これこそが西高精神そのものではないでしょうか。同窓生諸氏の更なるご活躍を期待して止みません。

甚だ微力では御座いますが、同窓会が同窓生諸氏の情報交換・親睦・交流の場となりますよう努力させて頂く所存で御座いますので、皆様方のご協力を賜ります様お願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

## 学年同窓会を振り返って

13回生 丹下 由男

昨年の同窓会総会開催に合わせ、十三回生の学年同窓会を行いました。卒業二十周年にあたり、学年同窓会を開催するという企画も今回で四回目となり、かなり定着してきました。

今回は私共幹事のとりかかりが遅く、案内にも一部不備な点があり、この会が成功するかどうか不安な状態でした。しかし、会の開催を知った方々が電話等で連絡をとっていただいたこともあり、参加者は六十名を超えました。また、鹿野恵策先生、佐々木大實先生、二井内正人先生、高木絃子先生、伊藤智子先生といった五名の恩師

の方々にも参加していただき、盛大な会となりました。

「まったく変わってないね」という言葉から、「ずいぶん変わったね」という言葉があちこちで聞かれました。卒業から二十年が過ぎ、風貌だけでなく、性格や考え方についても同様で、懐かしさと、新たな発見とが交錯し、楽しい時を過ごすことができました。

この会を通し、社会人として、色々な部署で活躍している友人たちの姿を知ることができ、今後も頑張っていこうという意欲がわいてきました。是非、また何年か後に学年同窓会を開催し、今回参加できなかった旧友たちとも再会できたら、と思っております。

## 平成11年度 同窓会総会のお知らせ

(全日制 第14回生学年同窓会同時開催)

- ◆◇ 日時 8月8日(日) 午後5時より
- ◆◇ 場所 一宮平安殿
- ◆◇ 会費 5,000円 (学生は3,000円)

同封のハガキで出欠をお知らせ下さい。一宮駅オーシマ前から4時半にバスがでますので、ご利用の方は出欠ハガキにご記入下さい。



※来年度は、全日制第15回生(昭和56年卒)の学年同窓会を計画しております。